

2017-18 ROTARY INTERNATIONAL District 2710 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017-18 年度
国際ロータリー第 2710 地区 ガバナー

藤中秀幸

GOVERNOR: Hideyuki Fujinaka
IWAKUNI CHUO ROTARY CLUB

会員増強・新クラブ結成 推進月間によせて

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。2017年4月末日現在の第1ゾーンから第3ゾーンの会員数は合計89,675名で、前年同月末日に対して249名増加し、ここ数年漸増傾向が続いているとはいえ、9万人の壁を破ることができません。当地区も2017年4月末日現在3,331名で、対前年4月末日の会員数に比し9名減少となっています。

会員増強は少子高齢社会に伴う社会変動の波が、会員の中核を占める中小企業の経営環境に大きな影響を与え、更には会員の現役引退や後継者不足によるM&A、廃業等により、より困難さを増しているものと思います。

昨年、名古屋で開催されたロータリー研究会で、ジョン・F・ジャムRI会長(当時)は冒頭の挨拶の中で2016年規定審議会で「ロータリーを前進させるための大胆な変更を可能にした代表議員の方々を誇りに思う。代表議員は、会長、例会、出席における柔軟性を高めることで、クラブが自主性を発揮することができるよう立法案を採択した。ロータリーは組織の未来を形作るための機会を地区、クラブ、会員に与えている。

皆様にはロータリーを次のレベルへと引き上げるために、それぞれができることを考えて頂きたい」と述べられ、私達により一層の奮起を促されました。

ロータリーは運動体です。活動が無ければ衰退します。活力は「質」×「量」で表わすことができます。まず取り組むべきは「質」の確保です。先達の歩みをしっかりと認識し、「不易流行」の精神で、会員のロータリアンとしての意識を高める必要があると思います。RLIへの参加も極めて有効です。

次に「量」への挑戦です。斉藤直美RI理事は、2016年規定審議会を重視した新しいクラブ作りと題して①例会のあり方 ②安価なクラブ運営 ③地区委員会への出席はインターネットを活用 ④会員身分と職業分類の検討 そして⑤30人未満のクラブは10人前後を増強するクラブ目標を立てる。街づくり、地域づくりのためのクラブ戦略計画を作成し、地域の人々のニーズに応えられるクラブになるよう奉仕活動を特化する。そのためにクラブを超えて同一地域内のロータリークラブと協働し、継続するプログラムを開発、実施する。との提案をされています。新会員の受け皿作りに、クラブ運営の柔軟性を検討することも急務であろうと思います。

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません」ロータリー創設者ポール・ハリスの言葉です。

今、私達は地域でボランティア活動をする青年や退職者を迎え入れるために、大胆な決断をする時期に来ているのかも知れません。

クラブの皆様のご健闘をお祈りします。

ロータリー：変化をもたらす



Contents

ガバナー月信 2017年8月号

ガバナーメッセージ.....1	奉仕プロジェクト②部門報告.....5
会員増強月間によせて.....2	ロータリー財団部門報告.....5
地区研修・協議会報告.....2~3	米山記念奨学会部門報告.....5
会長・幹事部門報告.....3	ロータリーの友オリエンテーション報告.....6
クラブ管理運営部門報告.....3	国際ロータリー 会員基盤向上セミナー報告.....6
会員増強部門報告.....4	ロータリー財団寄付のお願い.....6
公共イメージ部門報告.....4	会員増減・出席率(6月度) 特別コラム.....7
奉仕プロジェクト①部門報告.....4	新会員・物故会員紹介 文庫通信 (奥付).....8



「会員増強月間」によせて 真のロータリアンを育てよう!

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会カウンセラー・パストガバナー
西村 栄時

8月はロータリーの『会員増強』を強調する月間です。皆さんとともに真の『会員の増強』について考えてみたいと思います。

まず、わが地区の会員状況ですが、1998年6月末に4282名を記録して以来2012年6月末の3197名まで減少の一途をたどり、みじめな14年間を経験しました。歴代ガバナーをはじめ各クラブ会長や増強委員長の懸命な努力にも拘らず約1000名もの会員を失ったことになります。ようやく歯止めが掛かったのが2013年6月末でした。以降、僅か20名程度ですが毎年増加傾向にあることは大変喜ばしいことです。この傾向はわが地区だけでなくわが国34の地区、そしてその会員総数増減の推移にほぼ符合しています。

その結果、地区の会員減少は地区の合併(岩手・宮城)を生じさせ、またわが国の会員数減少はRIのゾーンから選出する理事枠の削減という屈辱を味わい、会員数その国の力や評価を如実に示す結果となりました。

これからは、反転し失地を回復させなければなりません。しかし、会員増強はRI人頭分担金の頭数を揃えるためのものでなく、謙虚で誇り高いロータリアンの集う堅実な会員基盤を作り上げるものでなければなりません。経済環境が(特

に地方都市において)依然厳しく、言うべくして大変困難を要しますが、常に組織を生き生き保ち、足元をしっかりと固めていくことが必要と考えます。

それでは会員の維持・増強について私たちは何をすればいいのでしょうか。いろいろ皆さんにもお考えはあるかと存じますが、私は次の四点を挙げてみました。

一つには、新しく加わる会員に深く『ロータリー』を知っていただくこと。既存の会員にも、改めて謙虚な姿勢でロータリーの『職業奉仕』の精神を学びなおすことを勧めたいと思います。ロータリーを好きな熱意ある思いやりに満ちた真のロータリアンを一人でも多くすること。

二つには、何より例会を重視した温かく活力あるクラブを創ること。クラブに応じた柔軟性を取り入れ、ロータリーを楽しく有意義にしたいものです。

三つには、安易な金品の寄付ではなく、地域社会から称賛評価され感動を伴う奉仕活動を行うこと。

そして四つ目、もっとも重要なことは、常にロータリーに相応しい仲間を熱意を込めて一人でも多く誘うこと。

かつての輝かしい栄光・誇りを取り戻したいものです。皆さんの考えをお聞かせください。



2017-18 年度 地区研修・協議会報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 藤中 秀幸

地区研修・協議会は、PETSより後の3月、4月、5月のいずれかの日に、ガバナーエレクトが招集者となり、地区研修委員会が企画することになっています。その目的は、クラブ会長エレクトがPETSでの研修を土台として、さらにリーダーシップのスキルを学び、その他の次期クラブリーダーがその責務について学び、次年度リーダー全員で次年度の目標をさらに練り上げることにあります。

本年度は、2017年4月23日(日)に広島国際会議場で開催されました。前半の全体会議では、イアンH.S.ライズリー次年度

RI会長のテーマと会長賞、そして2017-18年度ロータリーの目標についてサンディエゴでのRI会長の講演内容を幾度も読み返し、私なりに理解を深め報告致しました。次いで、地区ガバナー信条と地区運営方針を





報告。次年度のRI及び地区の運営方針は、概ねクラブリーダーの皆様には理解を得られたものと推察しています。

後半は、9つの分科会に分かれての討議です。カウンセラーのご指導を頂きながら、入念に準備した各委員長・委員の下、熱心な討議が行われました。次年度のクラブ活動に大きな示唆を与えてくれたものと思います。

私の担当した会長・幹事部門では、岩国短期大学教授・山縣明人氏に「新たな時代の波頭を越えるロータリークラブの社会的使命と実践」と題して講演を頂きました。山縣氏は、徳山ロータリークラブの推薦で、1973-74年度青少年交換学生として米国ワシントン州オリンピア市に留学、現在は日本思想史学会、政治経済史学会に所属し、山口放送局番組審査委員を勤められる等、地域の青少年育成、地域社会の活性化に積極的に取り組まれています。「ロータリーは地域社会のプランナーに！

そして行動を」との呼びかけに、胸を熱くされた会員も多かったと思います。

「ロータリーの元気は地域の元気」です。当日の研修の成果をクラブ活動に活かし、地域社会に対し、また自分自身に対しても変化をもたらす年度にしましょう。



地区研修・協議会報告(会長・幹事部門)

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 安本 政人

2017-18年度ガバナー信条は「時代の変化の先頭に立とう!ロータリーの心で地域の創生を!!」そして、地区基本的目標は「ロータリーの元気は地域の元気」であります。本分科会は、大きく激しく変化する時代、ロータリアンはこの変化をどのように捉え、これに立ち向かって行けば良いのか、ロータリーの歴史と現状を再確認し、ロータリークラブと地域社会の将来を考えることとしました。

各クラブより140名の会長・幹事の皆様の参加がありました。

第一講は、岩国短期大学山縣明人教授より、「新たな時代の波頭を越えるロータリークラブの社会的使命と実践」と題して

基調講演をいただきました。その中で、今迄のやり方では通用しない時代が来ている。これを「現代の終わりの始まり」と言う。ロータリーも例外ではない。新しい船出には古い荷物は、潔く海に捨てなければ出航できない。新たな目的地到達への実践の在り方を考えてみたいと訴えられました。

第二講は、菊重隆之地区事務局長より、「ロータリークラブ・セントラルについて」、マイロータリーへのアカウント登録・目標設定の必要性の説明がありました。

最後に、沖田哲義地区研修リーダーより、お褒めの講評をいただき分科会を閉じました。



2017-18 地区研修・協議会報告 クラブ管理運営部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会 委員長 瀬土 照章

今年度のクラブ管理運営委員会の地区目標は、①ロータリークラブ定款、ロータリークラブ細則の改定等の支援 ②戦略計画の更新または策定 ③魅力ある例会づくりの支援 ④出席率向上の対策検討 ⑤退会防止の対策検討 の5項目です。

分科会では、クラブの5年後・10年後の生き残りをかけて「クラブの戦略計画」について、講話・クラブの戦略計画導入報告・カウンセラーのアドバイスをいただきながら進めました。クラブ運営に自主性・柔軟性導入を図ることで、独創的で魅力的なクラブづくりに繋げる好機かも知れません。

講話では「クラブの戦略計画のこれまでとこれから」と題し、大之本精二PGから貴重なお話をいただき、クラブの戦略計画導入報告では、ローターアクトからのアンケート報告を志々田幸治様(呉RC)、クラブの長期計画・ビジョンと具体策を安保雅文様(尾道RC)、クラブの例会数・新会員対策を実施することで会員増につなげた報告を松永雅紀様(防府北RC)にしていたいただき、感謝しております。各クラブの担当者の方は、他クラブの貴重な報告を参考に、魅力的で楽しい例会づくりに役立てていただきたいと思います。



2017-18 地区研修・協議会報告 会員増強部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会 委員長 安田 年光

RI理事会が戦略計画で定めた三つの戦略的優先事項の一つ、「クラブのサポートと強化」に基づく藤中ガバナークエレクトの地区委員会方針を説明し、分科会をはじめました。

事例発表には2016-17年度に会員増強の実績を上げたクラブ、女性会員が多く加入しているクラブを代表して、広島東南RCの大井克元会員、周南西RCの原田康宏会員、福山赤坂RCの原隆之会員にお願いしました。それぞれほかのクラブに参考になることが多い発表であり、大変感謝しています。

2016年RI規定審議会で採択された方針の参考として、「例

会の柔軟性」「会員増強」をテーマにしたDVDを「ロータリー文庫」の協力を得て上映、今後のクラブ運営の参考になればと思っています。今後、この柔軟性の各クラブでの影響を調査したいと思っています。

最後にカウンセラーの西村栄時PGから講評とともに「真の会員増強を!-更に輝きを増すために-」として講話していただきました。西村PGは「真の会員増強は、熱意を込め新たな会員を獲得し、しっかりしたロータリー情報を提供し、会員に魂を入れる!」と結ばれました。



2017-18 地区研修・協議会報告 公共イメージ部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員会 委員長 細川 芳朗

まず、光RCの通山さんに事例発表をしていただきました。がん予防推進から創立35周年記念事業として、乳がんについての官・民・マスコミ等を巻き込んだ市民セミナーを開催され、その過程についての発表をしていただきました。

次にロータリーの友では、宮本さん(岩国中央RC)から内容紹介と投稿される場合のポイント等の注意点を発表していただきました。続いてロータリーのITについて川岡さん(岩国中央RC)から自分自身の体験からどの様に考えて行ったら良いかの話をさせていただきました。

質疑応答では、大変難しい質問などが出、解答という事にはなりませんでしたが、今一度皆様に考えていただく良い機会になったのではないかと思います。

最後にカウンセラーの東良輝PG(宇部西RC)から講評をいただき大変有意義な分科会になりました。

なお、公共イメージ委員会に名称が変わって2年目という事もあり、今まで以上のロータリー情報をネットも含めたマスコミ等に流し、ロータリーのイメージUPが出来る委員会にしていきたいと思っています。



2017-18 地区研修・協議会報告 奉仕プロジェクト①(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕)部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会 委員長 長濱 僚昭

奉仕プロジェクト部門の分科会は、カウンセラーの前田茂パストガバナー、金子克也パストガバナーをお迎えし、開催致しました。

国際奉仕の事例紹介は、徳納武使様(広島西南RC)からカンボジアの児童施設建設(クラブ30周年記念事業)の報告がありました。

職業奉仕では、高田慎二様(徳山セントラルRC)から、徳山小学校へ出前事業「大人に学ぶサポートプラン」を実施した報告をしていただき、また社会奉仕としては、星田昌吾様(吉舎RC)より、「ホテルの里プロジェクト」の推進を掲げ、ホテルの育つ

環境整備及び啓蒙活動、地元団体と共に行う河川清掃、地元小学校の総合学習授業の一環として取り組んでいるとの報告がありました。

また、「奉仕プロジェクトアンケート結果について」は、第2710地区73RCのアンケート調査を行い、内容の一部の紹介と発表RCの選出をさせていただきました。73RCの奉仕活動に対する取り組み方は、素晴らしい活動が多く驚きました。

最後にカウンセラーの前田 茂パストガバナーより、講評と助言をいただき、終了致しました。



2017-18 地区研修・協議会報告 奉仕プロジェクト②(青少年奉仕)部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 青少年奉仕委員会 委員長 小野 悟

青少年奉仕は、カウンセラーに金子信様(萩RC)をお迎えし、インターアクト委員長都志見格様(岩国中央RC)、青少年交換委員長亀岡法芳様(岩国中央RC)、ロータリーアクト委員長塩田博志様(岩国西RC)、RYLA委員長小野悟(柳井RC)が、クラブと地区で取り組んでいる青少年のためのそれぞれのRI常設プログラムについて概説並びに年間行事の説明を行った。

インターアクトクラブは、ホスト校高川学園高等学校(防府RC)にて第41回インターアクト地区大会が7月29日～30日開催され、また翌年の1月27日にインターアクト日韓親善歓迎式、交流会を開催する予定である。青少年交換プログラムは、次年度4名の交換派遣並びに受け入れをすることが決まった。ロータリーア

クトは、現在山口3クラブ、広島3クラブあり会員49名で運営されている。近年減少傾向の強いなか、新規クラブとして広島中央ロータリーアクトが認証された。RYLAは、11月11日ホストクラブ柳井RC、コホストクラブに柳井西RCによって「生きていることは学ぶこと、そして感動と出会い!」テーマは「チーム力」を掲げ、①リーダーシップから学ぶ「チーム力」②遊びで学ぶ「チーム力」③感動で学ぶ「チーム力」の三部構成で開催する。従来の1泊2日の研修を今回は1日として内容の濃縮、集中力の中で、まず参加しやすくこのRYLAを認知、理解して頂くプログラムとした。一番の課題を会員増強であると考え、そのための変化と勇気をもって挑戦してみたいと考える。



2017-18 地区研修・協議会報告 ロータリー財団部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長 伊賀 訓之

久笠地区R財団監査委員より「ロータリー財団の現況について」以下の報告があった。

・2015-16年度の寄付状況

年次基金／1億2,100万ドル ポリオプラス／9,700万ドル
恒久基金／1,700万ドル その他／3,100万ドル

・2015-16年度ロータリー財団の支出

総額2億7,100万ドルの内、82%は財団プログラムに使用され、9%がプログラム運営費に充当。支出の91%が財団の使命を支えるプログラムと補助金に使用。

・2016-17年度RID2710グローバル補助金事業

人道的プロジェクトなし

奨学生2名 広島東南RC推薦 西山秀平(刑事国際法)

徳山RC推薦 石川祐実(医療従事者教育の改善と疾病

予防プログラムの開発)

・2016-17年度RID2710地区補助金事業

申請数 18件(採用数 18件、不採用 0件)

地区補助金奨学金 1件 広島西RC推薦 三澤志織

その他、三吉委員より寄付の流れについて、新田秀樹会長(呉東RC)より地区補助金プロジェクト事例発表、古澤委員よりグローバル補助金進捗状況と問題点について報告があった。また2017-18年度グローバル補助金奨学生3名(広島中央RC推薦・小田佳世、広島西RC推薦・藤原周平、三原RC推薦・河崎涼花)よりそれぞれの専攻分野とロータリーの親善大使としての覚悟を聞き、最後に松本茂太郎カウンセラーより講評をいただき終了した。



2017-18 地区研修・協議会報告 米山記念奨学会部門報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会 委員長 西本 守利

まず、本年度は米山記念奨学会の財団設立50周年の記念すべき年となります。

既にご承知の通り、ロータリー米山記念奨学会は2012年1月に公益財団法人に移行し、更なる積極的な活動を展開しつつあります。地区米山記念奨学会委員会部門の運営も4月の地区研修協議会でも申し上げました様に、時代の変化に適応

し進化する時期が来ていると思います。様々な改善策を展開して行く予定ですが、ご理解とご支援を宜しくお願い致します。最後に、藤中ガバナーの地区運営方針にあります米山記念奨学会支援目標16000円/人を地区としては是非達成したいと思いますので、各クラブのご支援、ご協力のほどを併せて宜しくお願い致します。



ロータリーの友委員会オリエンテーション報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 雑誌(ロータリーの友)委員会 委員長 宮本 民子

2017年5月15日、メルパルクTOKYOで次期地区代表委員のオリエンテーションが開催され、委員長を始め編集部職員、2500～2740地区の代表委員34名が一堂に会し「ロータリーの友」の意義、新年度の方針、編集企画について説明を受け、情報交換をしました。

新年度の友誌はイラストで表紙を飾ります。そして以下の連載を開始します。

- ・「New.Generation」の連載
- ・私の一冊の連載
- ・声

好評だった「クラブを訪ねて」は今年度も掲載します。

委員は「友」に関する代理者として、ガバナーと連携して刊行誌の促進を図り、活動状況の情報を収集し、取材に協力。毎号レポートを提出し、合同会議では

ガバナーの意向を踏まえた提言を行います。



国際ロータリー第1・第2・第3ゾーン 会員基盤向上セミナー報告

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー 藤中 秀幸

3月27日～28日ホテルオークラ東京において「会員基盤向上セミナー」が開催されました。

1日目は斎藤直美RI理事の挨拶の後、水野功プロジェクトリーダーが「日本のロータリー全体の戦略計画が必要ではないのか? 日本チームとして3ゾーン復活を目指そう」との趣旨説明があり、基調講演は三木明RI理事ノミニーの2016年度規定審議会の経過並びに決議事項の説明、次いで第2ゾーンARR FC舟木いさ子氏の「新しい風～クラブ拡大とその後～」と題しての講演と続きました。いずれも社会の変化への対応を求めるもので、クラブの選択肢が広がり、裁量権が強化された決議

事項の活かし方によって各クラブの活性化に違いが生じる可能性を強く感じました。午後は、公共イメージそして会員増強に関するプログラムと続き、実践例とその課題についての報告、なかでも戦略計画と成功事例についてのパネルディスカッションは、大変有意義なもので、大いに参考になりました。

2日目は、ロータリー財団を活用した奉仕活動、また、ロータリー平和フェローシップの素晴らしさについて、次に、グローバル補助金によるプロジェクトの活動報告があり、ロータリーの奉仕活動の幅広さ、奥深さを深く感じさせ、私自身に変化をもたらすセミナーで、今後の活動に反映させていただきます。



ロータリー財団寄付のお願い

2017-18年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会 委員長 伊賀 訓之

■2017-18年度地区ロータリー財団寄付目標

ポリオプラス基金	35ドル以上／1人
年次基金	150ドル以上／1人
恒久基金	ベネファクター1人以上／クラブ、 または1,000ドル以上／クラブ

大口寄付の要請(自動定期寄付を奨励)

冠名基金の要請(自動定期寄付を奨励)

■自動定期寄付

自動定期寄付は、国際ロータリーのウェブサイトよりオンラインでお申込みいただけます。

クレジットカードによる自動定期寄付では、寄付の頻度(毎月、四半期、毎年)と金額を自由に設定でき、毎回寄付の手続きにわずらわされることはありません。定期寄付を利用すれば、財団の取り組みの主な資金源となる年次基金を、継続的に支援することができます。皆様のご協力をお願いいたします。

国際ロータリー第2710地区 2016-17年度会員増減・出席率(2017年6月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会	本年度退会
1	長門	88.68	27	25	4	2	4
	下関	82.02	50	49	1	4	5
	下関中央	81.37	31	31	6	2	2
	下関東	77.88	55	54	2	6	7
	下関北	92.10	42	45	0	6	3
	下関西	87.76	35	35	1	0	0
	計	84.97	240	239	14	20	21
2	萩	95.92	54	57	0	3	0
	萩東	96.75	20	22	1	4	2
	美祢	83.35	23	24	0	6	5
	小野田	78.28	35	36	2	5	4
	宇部	92.96	46	46	3	3	3
	宇部東	68.25	14	14	1	0	0
	宇部西	87.09	55	53	3	2	4
	計	86.09	247	252	10	23	18
3	防府	97.44	54	54	0	5	5
	防府北	91.29	17	17	1	1	1
	防府南	80.57	34	37	7	5	2
	山口	85.61	55	50	4	4	9
	山口県央	97.20	32	30	1	2	4
	山口南	92.41	43	41	4	4	6
	計	90.75	235	229	17	21	27
4	光	96.00	47	44	0	1	4
	周南西	92.04	45	55	4	11	1
	徳山	95.60	45	46	1	6	5
	徳山セントラル	92.61	26	24	0	1	3
	徳山東	94.98	52	51	0	5	6
	計	94.25	215	220	5	24	19
5	岩国	79.90	61	60	0	7	8
	岩国中央	88.69	42	44	3	5	3
	岩国西	84.65	59	59	4	3	3
	柳井	100.00	33	33	2	1	1
	柳井西	95.66	27	24	2	2	5
	計	89.78	222	220	11	18	20
	計	89.78	222	220	11	18	20
6	広島	99.09	119	115	2	20	24
	広島安芸	95.32	39	39	2	2	2
	広島安佐	89.91	24	25	2	4	3
	広島東	98.66	99	95	6	9	13
	広島北	99.98	86	92	0	14	8
	広島陵北	97.25	52	51	3	2	3
	大竹	87.79	33	32	0	4	5
	計	95.43	452	449	15	55	58
7	広島中央	100.00	79	78	7	3	4
	広島廿日市	87.69	36	33	1	1	4
	広島城南	99.42	54	44	3	3	13
	広島南	99.68	87	88	0	7	6
	広島東南	100.00	95	100	13	15	10
	広島西南	100.00	65	62	3	4	7
	広島西	100.00	84	81	0	4	7
	計	98.11	500	486	27	37	51
8	江田島	90.39	17	18	0	2	1
	東広島	96.70	33	33	2	3	3
	東広島21	79.04	16	18	4	2	0
	呉	92.19	68	65	0	3	6
	呉東	93.11	31	32	0	1	0
	呉南	91.21	57	59	3	2	0
	西条	98.27	41	38	3	2	5
	計	91.56	263	263	12	15	15
9	広島空港	80.64	24	27	3	4	1
	因島	93.29	20	18	0	0	2
	三原	89.47	58	60	0	5	3
	尾道	83.89	79	78	2	6	7
	尾道東	89.27	49	53	3	4	0
	瀬戸田	83.30	6	5	0	0	1
	竹原	91.17	36	32	4	0	4
	計	87.29	272	273	12	19	18
10	府中	81.89	29	26	0	0	3
	福山	97.35	79	81	0	11	9
	福山東	81.50	50	48	2	2	4
	福山丸之内	97.15	33	31	1	0	2
	鞆の浦	85.31	24	23	0	1	2
	福山REC2710*	100.00	21	21	4	3	3
	計	90.53	236	230	7	17	23
11	福山赤坂	80.52	46	48	7	5	3
	福山北	94.19	44	42	0	2	4
	福山南	86.88	56	57	2	9	8
	福山西	94.12	44	40	4	2	6
	松永	89.30	53	53	2	1	1
	計	89.00	243	240	15	19	22
	計	89.00	243	240	15	19	22
12	吉舎	98.47	17	18	0	1	0
	三次	86.60	40	39	0	2	3
	三次中央	93.80	42	44	5	4	2
	庄原	81.40	35	33	4	3	5
	東城	94.01	20	19	1	2	3
	計	90.86	154	153	10	12	13
	計	90.86	154	153	10	12	13
第2710地区計		90.50	3279	3254	155	280	305

※正式名称「福山ロータリーEクラブ 2710」

特別コラム 日本のロータリー誕生とわが地区史②

国際ロータリー第2710地区バスターガバナー 西村 栄時

東京ロータリークラブ誕生!

福島喜三次がダラスロータリークラブに入会して4年後の1918年(大正7年)、米国経済視察団の一員として渡米しダラスを訪れた米山梅吉(1868~1946年)をクラブ例会に招待した。米山はその団体の存在に衝撃と感動を受け、その精神に強い共感を抱いたと伝えられている。

米国視察を終え帰国した米山は、ロータリー運動を日本で起こすべく着々その理念と組織を研究し、福島喜三次の帰国に備えた。1920年(大正9年)の初頭、米山はやっと帰国した福島と在日アメリカ人実業家ウィリアム・ジョンストンの協力を得てロータリー設立の準備を急いだ。9月1日の設立準備会を経て10月20日、有志25名で記念すべき設立総会を開く。特別代表は福島喜三次、初代会長米山梅吉、初代幹事は特別代表を務めた福島が就いた。二人(福島・米山)の邂逅が日本のロータリー史をスタートさせたのである。因みに東京ロータリークラブはアジアでマニラ・上海・カルカッタに次ぐ4番目のクラブであった。

直ちに、シカゴのロータリー国際連合会[1922年6月、今日の国際ロータリー(RI)に改称]本部に加盟申請し、翌21年4月に承認(認証番号855)を受けた。(この年第12回ロサンゼルス大会でメックアップの規定が制定)

東京クラブの例会は月1回、会場は銀行倶楽部、1923年7月から英文による週報(東京Bulletin)が発行された。

会員の選考は厳しく、限られた人たちのクラブであったが、会員のロータリーへの理解や熱意は乏しく、例会は欠席者が多かったという。

次いで大阪ロータリークラブ発足!

1922年(大正11年)、福島が大阪勤務となったことで、再び特別代表となり11月17日、大阪ロータリークラブを創設。福島はまたも初代幹事となる。

当時ヨーロッパは第一次世界大戦の終戦処理やオスマン帝国の滅亡、共産主義革命によるソ連邦の誕生などで混乱し、経済は疲弊していたが、連合側側に立った遠隔地の日本は経済も安定し、平和を謳歌していた。大阪クラブ誕生の祝典は、繁栄を象徴するかの祝福に満ちた大祝賀会であったと伝えられている。(1923年6月、第13回セントルイス大会で歯車に楔穴を加えたロータリーマークが決まり、ロータリーの哲学「決議23-34」が採択され、ロータリー運動の原理と実践の論争に決着をみた)

(敬称略)

新会員紹介



福田 正樹
下関北RC
2017年6月1日
自動車販売



松本 浩之
下関北RC
2017年6月1日
建設業板金



古江 直樹
萩RC
2017年6月22日
土地家屋調査士



永井 一男
萩東RC
2017年6月20日
ホテル



松浦 浩二
萩東RC
2017年6月20日
冠婚葬祭



千葉 泰久
宇部RC
2017年6月1日
団体管理職



守田 洋一
山口南RC
2017年6月23日
広告宣伝



荒川 政友
山口南RC
2017年6月2日
損害保険



國清 篤
岩国西RC
2017年7月7日
生花小売業



杉田 由明
柳井RC
2017年6月6日
普通銀行



山田 浩志
柳井西RC
2017年6月22日
普通銀行



福留 信也
広島RC
2017年6月20日
請負業



五弓 博文
広島RC
2017年6月20日
ホテル



松藤 研介
広島RC
2017年6月20日
ガス供給



中原 健治
広島RC
2017年6月27日
パン製造



大串 修二
広島安佐RC
2017年6月29日
飲食業



池久保 典也
広島北RC
2017年6月15日
電気設備工事



桑原 一通
広島北RC
2017年6月15日
歯科医



重田 雄三
広島北RC
2017年6月15日
広告代理



穂北 光宏
広島東南RC
2017年6月29日
損害保険業



高橋 征司
呉RC
2017年6月1日
貸衣装



荒川 誠
呉RC
2017年6月1日
損害保険



幡地 康永
因島RC
2017年7月1日
日鉄金属加工業



佐々木 茂
福山RC
2017年6月12日
貯蓄銀行



山口 博史
福山東RC
2017年6月30日
ホテル



横井 健志
福山南RC
2017年6月1日
地方銀行



石川 真吾
福山西RC
2017年7月4日
ホテル



萩RC
故 佐伯 政樹 殿

■ロータリー暦
1991-92年度 幹事
2002-03年度 会長
マルチプル・ポールハリス・フェロー
第4回 米山功労者 マルチプル
■職業分類
時計・めがね販売

2017年7月5日 ご逝去
(享年74歳)



宇部西RC
故 平田 淳 殿

■ロータリー暦
1985-86年度 会長
米寿クラブ表彰
■職業分類
整形外科医

2017年7月8日 ご逝去
(享年89歳)

謹んで追悼の意を表します

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/> **ロータリー文庫** 検索



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、
一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

「ロータリー概論-ロータリー史からみた奉仕の理想」	あわじ中央R.C.	2002	167P	
「ロータリーエッセイ-英米史の中のポール P.ハリス考」	矢作 好英	2009	27P	
「ロータリーの基本～研修の手引き」	本田 博己	2012	40P	
「全く私(わたくし)的なロータリーの記録」	井原 俊彦	2015	83P	
「職業奉仕を学ぶ」		2015	108P	(D.2680月信)
「クラブ会長スピーチ集」		2016	94P	(D.2650月信)
「『ロータリーの真髄』～変えてはいけないロータリー」	深川 純一	2017	31P	(D.2510 IM実行委員会)
「世界でよいことをしよう:ロータリー財団百年誌」	デイビッド C.フォワード	2015	296P	Ⓜ 国際ロータリー 日本事務局 FAX(03)5439-0405
「ロータリー入門書2017～2018年度版」	前原 勝樹・重田 政信・渡辺 好政	2017	227P	Ⓜ 北斗事業出版 TEL(03)5207-6681
「ロータリー財団ハンドブック」(D.2750)		2017	112P	Ⓜ D.2750 FAX(03)5472-2750

[上記申込先]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館 = 午前10時～午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

国際ロータリー
第2710地区 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL:082-506-0055 FAX:082-263-2323 E-mail:info@ri2710.com URL:<http://ri2710.com/>